

音楽音響研究へのいざない

日本音響学会の音楽音響研究会では、これまで音楽音響にあまり接したことの無い方にも音楽音響について知っていただき、また、音楽を楽しんでいただくプログラム

を準備しました。特に、国際的なピアニスト、須田真美子氏のコンサートを開催しますのでご期待下さい。また、多方面で精力的に活躍されている佐藤望氏には、「鍵盤楽器演奏テクニックの変遷」についてデモンストレーションも交えたお話をさせていただけることになりました。また、「音楽音響チュートリアル」の吉川茂氏は、音楽音響研究会の中心メンバーの一人です。参加無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

平成13年9月21日(金) 午後 1時半～6時半

アクトシティ浜松 研修交流センター音楽セミナー室 (JR浜松駅より徒歩5分)

第一部 音楽音響研究への誘い

13:35～15:00 音楽音響チュートリアル 「楽器—音と音楽と人間を結びつけるもの」
吉川 茂 (九州芸術工科大学)

15:15～16:40 招待講演 「鍵盤楽器演奏テクニックの変遷」
佐藤 望 (慶応大学)

第二部 ピアノコンサートと特別講演 17:00～18:30

ベートーベン	ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調「月光」 Op.27-2
シューマン	子供の情景 Op.15
ショパン	ポロネーズ第1番嬰ハ短調 Op.26-1
ショパン	バラード第1番ト短調 Op.23

特別講演 「会場は楽器?? ピアニストの考えるアレコレ...」

須田 真美子 (ピアニスト)

参加申込み

1. お名前, 2. ご連絡先(電話番号, ファックス番号, E-mail アドレス等のいずれか)を下記までご連絡下さい。会場の収容人数が許す限り受け付けますが、出来るだけ早くお知らせ下さるようお願いいたします。

音楽音響研究会 幹事 西口磯春 Tel/Fax. 046-291-3151, E-mail: nishiguc@sd.kanagawa-it.ac.jp

〒243-0292 厚木市下荻野 1030 神奈川工科大学 システムデザイン工学科

なお、「音楽音響研究への誘い」は平成13年9月21日(金)～23日(日)に行われる音楽音響研究会の夏期セミナーの一環として開催いたします。夏期セミナーもどなたでも入場無料です。詳細については、ホームページをご覧ください。 <http://www.soc.nacsis.ac.jp/asj/MA/>

須田真美子氏 プロフィール

1969年桐朋学園高校を首席卒業。音楽賞受賞。1970年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に入学。1972年同音学院を首席卒業。ロジェ・デュカス特別賞受賞。1980年モーツァルト国際音楽コンクール(ロンドン)ピアノ部門第1位。1981年よりハンガリーで故アニー・フィッシャー女史の薫陶を受け、1985年第11回ショパン協会賞受賞。1990年「スペイン夏の音楽祭」に招かれ、ウィーン弦楽四重奏団と共演。1993年にはパリ国立高等音楽院の卒業試験の審査員を務め、1994年フランス「ヴァンヌ夏の音楽祭」の国際アカデミーマスタークラスの教授として招聘される。1997年ポルトガルの「フィゲイラ夏の音楽祭」でシューベルト生誕200年、ブラームス没後100年記念コンサートに招かれ、連続5回の演奏会に出演。2000年には、オランダ、ロッテルダム音楽院にてマスタークラスを行い、又、イタリアの「新1000年紀コンサート」に招かれてローマのギオーネ劇場で演奏。本年5月にもパリ、ローマ、ブリュッセルにてソロ・リサイタルに出演。桐朋学園大学及びマスタークラス等で後進の指導を行なう一方、内外においてその活躍は多岐に渡っている。

佐藤望氏 プロフィール

1965年福岡県北九州市生まれ。1989年東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。1992年東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。1996年東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程退学。東京藝術大学では、角倉一朗氏らに師事して、スヴェーリンクからバッハに至る鍵盤音楽を中心テーマに音楽学研究の訓練を受ける。1989～1991年にケルン大学、1994～1996年にボーフム大学博士課程に留学。ボーフム大学では、ヴェルナー・ブライク博士に師事し、17～18世紀ドイツの音楽理論に関する研究を進める。1996～1999年東京藝術大学音楽学部楽理科常勤助手。1999年より慶應義塾大学専任講師、東京藝術大学非常勤講師。ドイツを中心とする音楽史分野の研究論文の他、録音解説、演奏会解説などの執筆活動、NHK-FM放送のクラシック番組で解説なども行う。翻訳として、講談社『ニュー・グローブ・世界音楽大事典』の119項目の監訳、デイヴィッド・シューレンバーグ『バッハの鍵盤音楽』(共訳、小学館、2001年)などがある。

ホームページ <http://www.fbc.keio.ac.jp/~n-sato/>

吉川茂氏 プロフィール

1974年名古屋大学理学部物理学科卒業。その後、九州芸工大、玉川大、東京工大でオルガンパイプの発音機構について研究。1980-98年防衛庁技術研究本部第5研究所。1988～89年米海軍士官学校理学部客員研究教授、1990-91年米海軍研究所物理音響部交換研究員。1998年九州芸工大音響設計学科教授、現在に至る。専門は楽器音響学(発音メカニズム)、構造音響学(近距離場音響ホログラフィ)。1981年佐藤論文賞。米国音響学会フェロー。フランス音響学会、日本流体力学会、可視情報学会、Catgut Acoustical Society 各会員。日本音響学会理事(出版委員長)、評議員、編集委員。